

輩～TOMOGARA～

令和5年度 明石市立大久保北中学校生徒指導通信12月号

今年はどんな1年でしたか…～飛躍の卯年から変革の辰年へ～

12月に入るとあっという間に「今年も終わり」という雰囲気が出てきますが、自分にとってこの一年はどんな1年でしたか。よくある質問ですが、振り返ることは次への一歩！楽しい思い出は大切に、悔しかったことは糧に2024年を迎えましょう。

さて、12月25日のクリスマス！今年は冬休みに入ってから月曜日です。「クリスマスはイエス・キリストの誕生日」と認識している人も多いと思いますが、正しくは「キリストの誕生をお祝いする日」とされています。実は聖書などには正確な誕生日は載っていないそうで、なぜ25日になったのかは実は不明なままなんです。日本においては、1552年にミサが行われたことが始まりとされていますが、その後鎖国となり一度途絶えてしまいます。明治時代に入り百貨店がクリスマス商戦を始め、少しずつクリスマスが広まっています。1926年に大正天皇が崩御（亡くなる）された日が12月25日で、国民の休日に制定されました。クリスマス当日が祝日となり、この習慣が普及していったのかもしれませんが。お店や各家庭でも、ツリーやリースなどが飾られていると少しワクワク、ソワソワしますが、この100年で日本になじみ、欠かすことのできないイベントになっていますね。

ただ、どんなイベントも当たり前ではなく、人の思いや願いが込められて今につながっています。それは学校も同じで、行事やルール等、先輩たちからの積み重ねがあって成り立っています。そんな思いや歴史を正しく知り、今の時代に合わせて考えていくことが、今を生きる自分たちの使命かもしれません。ただ、楽しむだけでなく過去と今をつなぎ、未来へと橋渡しをしていきましょう。

12月の月間目標

振り返りをして、1年を締めくくろう

クラスや個人でも今年の一年を振り返ると思いますが、自分の考えを文字に表すことは大切です。落ち着いて振り返りができる雰囲気と環境を作っていきましょう。そして、新しい年のいいスタートが切れるようにしましょう。

三者懇談について

12月15、18、19、20日の4日間、三者懇談があります。本校内、周辺は駐車スペースがなく自動車での来校はできないので、ご理解・ご協力よろしくお願いします。また、生徒の再登校で自転車利用は認められていないので、徒歩で来るようにしましょう。

カーライルの助言

思想家として名高いトマス・カーライルの家を一人の婦人が訪ねた。「先生、私は家庭のことや人生のことでいろいろと悩んでいます。どうかして私の悩みを解決する道はないのでしょうか？」婦人はそう言って、その悩みの数々をカーライルに打ち明けた。カーライルは婦人の打ち明け話を最後まで聞いて、こう答えた。



「まず自分の裁縫箱を調べなさい。乱れた糸があったら糸巻きにきちんと巻くことです。次にタンスの中を調べて、取り散らかっていたら中を整理することです。私が申しあげられるのは、それだけです。」

婦人は首をひねったが、何か深い意味があるに違いないと思って帰宅した。

一週間後、先の婦人がカーライルの家をまた訪ねた。

「先日は誠にありがとうございました。帰ってから、裁縫箱を調べましたら乱雑になっていたの、さっそく整理しました。そうこうしているうちに、先生のおっしゃりたいことがわかってきました。〈人生は整理されたものでなければならない〉——そういう事ですね」カーライルはにっこりと笑ってうなずいた。

整理整頓は人生の半分である（ドイツの格言）

大きくて複雑な悩みも、まずは身近な小さなことから。

校則検討委員会について

昨年から発足された校則検討委員会ですが、現状の学校のルールは守れていますか。これくらいならいいかな、こっちの方がおしゃれだしと自分で解釈を変えていませんか。大久保北中学校では規範意識（ルールを守る意識）をみんなに身に付けてほしいと思います。

色んなルールがあって厳しいと思うかもしれませんが、社会では社会のルールがあり、一人ひとりがそれを守ることで落ち着いた生活を送ることができています。みんなにとって過ごしやすい学校を作ることが一番の目的であることを忘れないようにしましょう。

校則検討の方法（受験などへの配慮のため、1・2年生で行う）

- | | |
|---------|---|
| ①生徒メンバー | 生活委員長、HR委員長、生徒会より他2名
1・2年生 生活委員学年代表 HR委員学年代表 |
| ②大まかな流れ | 1月：メンバー招集、校則の検討項目をリストアップ
2月：1、2年生全員に検討項目についてアンケート→再検討
3月：職員会議などへ提案、方針の最終確認
4月：新しいルールスタート（6月の生徒総会で最終決定） |

登下校、放課後について

暗くなるのが早くなり、できるだけ集団で帰った方がいいですが、その際に友達とふざけ合ったり、大声で叫んだりする人がいます。当たり前ですが、中学生だけじゃなく、様々な人が生活をしています。学校と同じで、みんなが住みやすい地域にできるよう心がけましょう。また、放課後や休日でも自転車の乗り方や公園での遊び方についてもルールやマナーを守りましょう。